

平成24年7月3日

高松市長 大西 秀人 殿

高松市香川地区地域審議会

会長 佐藤 博美



建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する
意見について

盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成24年4月26日付け高地政第83号で依頼のありました、建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業について、別紙のとおり当地域審議会の意見等を提出いたしますので、建設計画関連事業を含め、重点的・戦略的に推進する主要な施策・事業を取りまとめた「第3期まちづくり戦略計画」に、当該意見等を十二分に反映していただきますようお願い申し上げます。

建設計画に係る平成25年度および26年度の
実施事業に関する意見について

1ページ

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
1	特色あるスポーツ施設の整備促進について	<p>建設計画の重点取組事項である「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備」については、現状分析の時点修正・スポーツ施設の再分析を早急に行うとのことではあるが、地域審議会での今までの審議決定事項を尊重していただき、用地については、香南町岡地区空港関連事業用地を購入確保する方向で早急に所有者と交渉を進めていただきたい。また、既に選任済みの基本構想検討委員会において直ちに議論を開始し、早期に基本構想・基本計画を策定し、平成27年度までには必ず整備することを確約されたい。</p>
2	保育所の整備および幼保一元化計画について	<p>大野，浅野，川東の3地区保育所の施設整備については、今後予想される南海地震など、大きな地震では倒壊の恐れもあることから、子ども達が安心・安全で健やかに育つ環境整備のためにも、速やかに取り組んでいただきたい。</p> <p>また、幼保一元化は今後の国の動向にもよるが、これからは保護者や現場の保育士，幼稚園教諭の要望・意見を聴取していただき、子ども達や保育士の負担とならないよう、保育形態などにおいて地域事情に十分配慮した取り組みをお願いしたい。</p>
3	公共下水道施設の早期整備について	<p>香川地区における、平成23年度末での公共下水道の整備状況を確認すると、計画面積の整備率が高松市全体では80.9%であるが、香川地区は極めて低く、57.3%であり、整備が大きく遅れている。このため、生活排水などの流入により水路、ため池、河川などの汚濁が進み、特に夏場になると悪臭が発生する要因ともなっている。従って、今後とも建設費用・維持管理コスト等を総合的に勘案しながら、香川町地域における下水道整備の強力な促進を図り、下水道処理人口普及率を高め、生活環境の改善に努めていただきたい。</p> <p>なお、香川地域の公共下水道事業の強力な推進計画と進捗状況等について、適宜報告をお願いしたい。</p>
4	伝統文化の保存継承について	<p>農村民芸「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存活動および後継者育成に対して、引続き積極的な支援を要望する。</p> <p>文化的にも価値が高く、香川県の指定民俗文化財にもなっている農村民芸「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存・継承、さらには、これからの担い手となる子供たちへの積極的な働きかけや、学校教育とも連携した後継者育成事業を推進するなど、高松市の貴重な文化財として、積極的な支援を要望する。</p> <p>併せて、現在、市のホームページや広報紙等へ「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の公演記事などを掲載し、インターネット等で全国への情報発信にも努めていただいているが、高松市の代表的な文化財として、ポスター等も提供しますので、近県へのPR等にもなお一層努力していただきたい。</p> <p>また、保存会独自に県内外の団体との交流を深めているが、高松市としても、複数団体での共同公演の開催計画など、更なる文化芸術の交流や効果的な情報発信を図るための支援を引続きお願いしたい。</p>

建設計画に係る平成25年度および26年度の
実施事業に関する意見について

2ページ

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
5	市道の整備について	<p>①市道向坂宮下線の早期整備 全市的にみて、将来は各拠点間を結ぶ路線として、また、高松市南部地域のまちづくりを担う大変重要な路線であることを認識いただき、地域審議会からの要望なども踏まえて、沿線にある市営斎場「やすらぎ苑」や陶芸の里「ふれあい創作館」への利便性も含め、道路の規格、法線などを早急に定め、請願道路として三木綾川線までの延長整備事業を早期に計画・立案されたい。</p> <p>②市道山下横岡線の拡幅整備等 市道山下横岡線の拡幅整備については、市道下川原北線の進捗状況を見ながら、その整備後の交通量の増加状況や交通の流れを検証し、適切に対応していくとの説明であったが、今後交通量が増加することは明白であり、通学路であることから危険性も増大する。幸いに現在まで学生などの事故は起きていないようだが、起きてからでは遅いので事故を未然に防止するためには、拡幅整備について早期に計画・立案されたい。 その他の路線についても、早期整備が図られるよう適切に対処されたい。</p>
6	高松市民病院附属香川診療所機能の確実な維持について	<p>高松市民病院附属香川診療所においては、医師確保が難しい現状は理解できるが、新病院開院まではあらゆる方策を講じていただき、香川診療所の確実な維持ならびに医師確保に向けての積極的な努力をお願いしたい。地域に根ざした病院であるとの認識の下、香川診療所が現体制より悪くならないよう、市民病院等から応援医師の派遣を継続するなど、引き続き診療体制の確保に努めていただきたい。</p>
7	香川町屋外球技場の風雨対策について	<p>香川町総合体育館東隣にある香川町屋外球技場は、平成23年度の利用状況を見ても小・中・高等学校や一般の人によるハンドボール競技で194回、老人会によるペタンク競技で36回、ゲートボール競技で39回（香川町総合体育館調べによる）と、地域に根ざした屋外球技場として盛んに利用されています。しかしながら、屋根はあるものの、側面は何にも覆われていないため、雨、風の強い時には競技に支障をきたし、不自由を感じている現状にあるので、早急な対策を要望するものです。</p>